

症状の緩和のための与薬における包括的指示の例

	患者の状態	現在	包括的指示	患者の生活の質
便秘	<ul style="list-style-type: none"> 処方されている下剤を1日3回内服しているが、排便がなく、直腸から肛門付近まで便が降りてきている。 力が無く努責できない。 肛門付近に便があって疼痛もあり、腹部の不快感も強い。 	アローゼン1回0.5g 1日3回	アローゼンを内服しても排便がない場合 ① 坐剤(レシカルボン坐剤 1回1個使用) ② 無効時: 浣腸(グリセリン浣腸 40ml)	<ul style="list-style-type: none"> 医師の指示を待たずに便秘の苦痛から解放される。
不眠	<ul style="list-style-type: none"> 処方されている眠剤の指示量を内服しているが、眠れない。 	アモバン 10mg1錠	アモバンを内服しても眠れない場合 リスミー2mg1錠追加	<ul style="list-style-type: none"> 夜間眠れて昼夜のリズムが保たれる。 せん妄や夜間不穏になることはない。
呼吸困難	<ul style="list-style-type: none"> 呼吸器疾患の患者で、酸素1リットル/分、鼻カニューレで吸入をしている。 活動時に息苦しさ、口唇・四肢末梢チアノーゼを呈し、呼吸困難、意識消失に陥る。 	安静時: 鼻カニューレで酸素2リットル/分	安静時: 鼻カニューレで酸素2リットル/分、 活動時(排便、散歩等): 鼻カニューレで酸素2リットル/分～5リットル/分まで状況に合わせて調節	<ul style="list-style-type: none"> 活動による酸素消費量にあわせて酸素を調節できることにより、呼吸困難に陥ることが無く日常生活に支障を来さない。